2021-2022年度



第2570地区

行田さくらロータリークラブ週報

国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ

「もっと夢を もっと奉仕を」 More dreams More service

ガバナー 水村雅啓

会長方針

『いざロータリー』知く好く楽

ロータリーを知り・ロータリーを好きになり・ロータリーを楽しもう Let's be active in Rotary. ロータリーで活躍しよう!!

会長 大谷文孝

李一敬継子司孝1 文謙 重伸里昭行 谷原﨑村本瀬辺田 大上早中宮梁渡埼 長事集 局 務務35 長事集 5-10

スリーハートビル3F 電 話 048 (564) 3000番 例会日時 火曜日12:30~13:30 例 会 場 ホテルガーデンパレス

熊谷市佐谷田3248番地 電 話 048 (525) 7777番 URL http://www.gyoda-sakura.jp

撮影:大谷文孝会長(はすタワーと桜) 印刷:マツオカ印刷株式会社

第2253回(1月18日)例会報告

会場:例会場

- ●点 鐘 大谷文孝会長
- ●ロータリーソング 奉仕の理想
- ●4つのテスト
- ●来訪者紹介 大谷文孝会長 名誉会員 江利川毅 様 (公益社団法人医療科学研究所理事長)
- ●会長報告 大谷文孝会長
- ●幹事報告 上原謙一幹事
- ●結婚祝 上原謙一会員、島崎義春会員、三島務会員、 横川福治会員、山岸泰輔会員
- ●出席状況報告 田中秀和委員長
- ●ニコニコ報告 松岡由浩委員長
- ●本日の卓話

名誉会員 江利川毅 様

(公益社団法人医療科学研究所理事長)

新春放談「リーダーシップについて」

- ●謝 辞 大谷文孝会長
- ●点 鐘 大谷文孝会長

○清水孝男会員より投稿

- ① 「高市さん人気」
- ② 「台湾侵攻は… (安倍晋三・桜井よし子) 対談」

点 鐘

来訪者紹介 大谷文孝会長



名誉会員 江利川毅 様 (公益社団法人医療科学研究所理事長)

会長報告



大谷文孝 会長

今月は職業奉仕月間です。

職業奉仕はロータリーの根幹的な目的と言われ、 日々の仕事を通して世の中に貢献するために、奉仕の 心を育て向上させることです。

社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるように努力を重ねそれによって、自己の職業の品位と道徳基準を 高め、社会から尊敬される存在のすることが出来るの です。

先週の3クラブ合同賀詞交歓会が若干の変更はあったものの、無事に開催できたことにホット胸をなでおろしております。

変異株が急速に拡大している状況下で、残念ながら様々なロータリーの行事が中止になっております。本日行われる予定でありました、第2570地区第5グループの会長幹事会や2月のIMの中止が決定しております。また、行田ロータリークラブの創立55周年記念式典も中止の方向で進んでいるようです。

この後、幹事からも報告がありますが、1月25日に 予定している職業奉仕の移動例会を通常の例会場にて の職業奉仕卓話に変更になりました。コロナ渦で、今 年度も状況を見ながらロータリーの事業を進めて行か なければなりません。中止にすることは簡単ですが、 出来る限りの知恵を絞って事業を進めて行ければと思 っておりますので、皆様のご協力を宜しくお願い致し ます。

本日は新春放談ということで、名誉会員の江利川毅様にお越しいただきました。江利川名誉会員は、内閣府事務次官や厚生労働事務次官を歴任された行田出身の方です。興味深いお話が聞けると思いますので、大変、楽しみです。

以上会長報告です。

幹事報告



上原謙一 幹事

幹事報告させていただきます。

1月プログラム変更としまして1月25日職業奉仕例

会ですが 企業研修 藍染体験と桐生競艇となっておりましたが、新型コロナウィルス オミクロン型の感染拡大のため 当例会場において11時30分点鐘 持ち帰り弁当方式の開催となります。卓話者として 日産証券 菊川弘之氏の卓話となります。

2月15日さくら植樹の例会となります。

2022-2023 年度 地区役員委員の委嘱の件といたしまして 奉仕プロジェクト委員会統括委員長員長として 五十幡和彦会員が委嘱されております。

忍の行田の「昔ばなし」語り部の会 10周年記念発表会の後援をさせております。

以上です。

誕生祝



島崎義春会員、横川福治会員、三島務会員、 山岸泰輔会員、上原謙一会員

出席状況報告

中村重継 委員長

| 会員数 | 出席対象者 | 出席者 | メーキャップ | 出席率 |
|-----|-------|-----|--------|-------|
| 56名 | 51名 | 26名 | 0名 | 5 1 % |

ニコニコ報告

松岡由浩 委員長

大谷会長 名誉会員 江利川様、本日の卓話楽しみにしておりました。新春放談宜しくお願い致します。

上原幹事 江利川名誉会員、本日は宜しくお願い致します。蔓延防止法が出そうですが、皆様体調に気を付けて下さい。

細井会員 江利川様、ご来訪ありがとうございます。 卓話宜しくお願いします。

> 1月2日行田さくら RC ゴルフコンペ3位 となりました。これからも優勝目指し頑張 ります。

清水会員 名誉会員 江利川さんのご来訪を心より歓迎申し上げます。

今年の干支、寅年生まれ、クラブ最年長 96 歳の清水孝男です。

長谷川会員 江利川名誉会員卓話楽しみにしております。

横川会員 誕生祝ありがとうございます。江利川さん 本日は宜しくお願い申し上げます。

矢澤会員 江利川様ようこそ。卓話楽しみにしていま した。宜しくお願いします。

新井会員 江利川様、本日はようこそ。また卓話楽し みにしておりました。宜しくお願いします。

島崎会員 次の米山記念奨学生は「Nguyen Thi Hiep」。
「Tay Qing」と同じ 22 歳の女の子をお願い
してあります。「Viet Nam」、「DaNang」出身
で、選んだ理由は見た目です。4 月になっ
たら連れてきます。期待して待っててくだ
さい。

五十幡会員 本日は江利川名誉会員の卓話楽しみにしておりました。今年もご指導宜しくお願い致します。

宮本会員 江利川様、卓話楽しみにしております。宜 しくお願い致します。

関根裕憲会員 本日、令和4年はじめて参加させて頂きます。本年も宜しくお願い申し上げます。

「江利川名誉会員の新春放談を楽しみにしております」の同文として、戸ケ崎会員、三島会員、田島会員、阿部会員、春日会員、川野会員、梁瀬会員、高橋会員、長島会員、田中秀和会員、江口会員、飯塚会員、松岡会員、山岸会員

本日の卓話

新春放談「リーダーシップについて」 名誉会員 江利川毅 様











謝辞



大谷文孝会長

点鐘



大谷文孝 会長

○清水孝男会員より投稿

1)「高市さん人気」

自民党総裁選に出馬した高市さんは、次のように語っていた。「日本を安全で力強い国にしたい、という思いです。経済が相当弱ってきているのに、五年先、十年先に必ず起こる事態に向けた取り組みが、何一つ手つかずであることに相当な危機感を持っています。一刻の猶予もないと思っており、ものすごい焦りがあります。今、着手しないと間に合いません。だから、何が何でも立候補したいと思いました。(月間「正論」10月号)

これに対して、評論家の西尾幹二氏は、私の胸に真に突き刺さった言葉で、共感の火花を散らした。21世紀の初頭には、技術産業国家の1、2位を争う国であったのに、平成年間にずり落ち、各国に追い抜かれた。ロボット王国のはずだったのに、今や AI(人工知能)ロボット分野で中国の後塵を拝している。世界的な半導体不足は日本のこの方面んも復活のチャンスと聞いていたが、かつての円高誘導という米国の謀略で台湾と韓国にその主力は移った。実力があっても今ではもう戻りそうにない。

毎年のように列島を襲う風水害の被害の大きさは国 土強靭化政策も唱えた安倍晋三内閣の公約違反であり、 毎年同じ被害を繰り返すさまは天災ではなく、すでに 「人災」の趣がある。台湾情勢は戦争の近さを予感さ せる。尖閣諸島(沖縄県石垣島)周辺のきな臭さを国 民の目に隠したままではもう済まされない限界がきて いる。少子化問題は民族国家日本の消滅を予示してい るが、自民党の対策は常におざなりで本腰が入っていない。ただ、一つ例外は、高市氏の出馬だ。氏の新刊書「美しく、強く、成長する国へ」(ワック)を見るがいい。用意周到な政策論著である。私が冒頭にあげた日本人の今の怒りと焦りがにじみ出ている。同署はアマゾンの総合1位にかけ上った。

2)「台湾侵攻は…(安倍晋三・桜井よし子)対談」

安倍 中国が台湾統一と並んで目標に掲げているのが、米国を抜いて世界一の経済大国になることです。ところが、この二つを達成するのは難しい。武力による台湾統一を試みた場合、中国は国際社会から経済制裁を受けるからです。彼らにとって台湾への武力侵攻は、経済的自殺を意味します。

そこで、中国は軍備を用いない戦いを仕掛けてくる可能性がある。例えばサイバー攻撃で社会インフラを機能停止に追い込めば、台湾世論は、「中国を敵に回さない方がいい」と思ってしまうかもしれません。

桜井 中国はロシアのクリミア侵攻から多くを学んでいるはずです。サイバー攻撃を仕掛けられたウクライナは突然、携帯電話が利用できなくなりました。その後、テレビ、ラジオ各局の通信が遮断され、公共の交通機関が止まった。混乱に乗じてロシア軍が街を占拠し、今に至ります。サイバー攻撃によって、クリミア半島はいとも簡単に奪われてしまったのです。

安倍 中国の行動は、技術的に高度かつ複雑なものとなり、争いの舞台は、宇宙交換、サイバー空間にまで拡大しています。私たちの社会インフラがつねに危険に晒されるなか、平時と戦時の境目は、曖昧になっている。中国は、30年間で軍事費を42倍に増やし、いまや日本の防衛予算の4倍、建国百周年にあたる2049年中国は世界の超大国になるという目標を掲げています。中国が、インド太平洋地域で配備する水上艦、潜水艦、航空機の数は、すでに日本の4倍戦力になっている。これらに対して日米両政府では、電磁砲の共

同開発を本格化した。(1月11日新聞)

• 憲法改正

桜井 新しく生まれ変わった立憲民主党には、政府・自民党の掲げ足取りではなく政策で勝負してほしい。とくに憲法改正をめぐる建設的な議論を期待します。衆院選挙における自民党の公約を見ても、岸田総理が派閥の平和志向から脱却しようという意図は、感じられます。あとは、行動で示すだけです。

安倍 憲法改正は、自民党の党是ですが、そう簡単に実現できないことは確かです。現実的に考えたとき、公明党の了解が得られる範囲内で検討しなければならない。私が自衛隊明記を提案した背景にも、そのような理由がありました。

現在、日本維新の会と国民民主党は改憲自体には賛同してくれています。立憲民主党や共産党は、「安倍政権下での改憲には反対」などと言っていましたが、私の首相退任から一年以上も経っている。子供じみた言い訳は通じませんし、国民も納得しないでしょう。

桜井 中国の脅威やコロナ禍における日本政府の対応を見るにつけ、優しさだけでは国民の生命、国家の名誉を守れないことを思い知らされます。一刻も早く憲法改正を成し遂げ、強い国に生まれ変わらなければなりません。

(WILL 2022年2月号より)